

## 行財政計画のねらいはムダな 大型公共事業の財源づくり

気候危機のなか大雨被害が相次いで発生しています。ムダな大型公共事業をやめ防災対策、住民福祉サービスを充実することこそ市政に求められています。

しかし、市長から示された「行財政改革計画」には、鴨川東岸線第三工区(70億円・市負担30億円)など予算計上を見送った凍結14事業について、3年間の集中改革期間後には、「予算計上の可否を再検討します」と計画期間5年間のうちにも再開を折り込んだ表現が明記されました。

また、市基本計画(5年間)には、与党プロジェクトチームが2023年にも着工を目指すとしている北陸新幹線の延伸など 5大大型公共事業推進が盛り込まれています。

「行財政改革計画」の真のねらいは住民・福祉サービスを削減し、不要不急・ムダな大型公共事業の財源を捻出することにあります。京都市の行財政改革計画を撤回させて、国いいなり府市一体で一部の大企業のための大型事業・国家プロジェクトを推進する政治から、暮らし・福祉・子育て・なりわいを応援する政治に転換させましょう。

**住民・福祉サービスを削減**  
保育料値上げ・保育士賃金カット・敬老乗車証負担3~4.5倍など



**不要不急・ムダな  
大型公共事業へ**

今後予定されている大型公共事業

**新・5大プロジェクト!?**

- 1** 北陸新幹線延伸(府市共同)  
総事業費2兆1000億円以上
- 2** 堀川地下バイパス(府市共同)  
高速道路計画時は事業費1200億円
- 3** 1号線バイパス(府市共同)
- 4** 9号線バイパス(府市共同)
- 5** 環状ネットワーク

不要不急の大型公共事業 **鴨川東岸線第三工区(総事業費70億円)の市負担30億円**があれば...

**これができる!**

- ☆学童クラブ利用料据え置き(市独自負担軽減8億円)
- ☆保育料市独自負担軽減継続(市独自負担軽減16億円)

過去の事業でも債務負担が増大  
**5大事業!**

- ①御池地下街・地下駐車場建設事業、②二条駅周辺整備事業、③山科駅前地区整備事業、④三条京阪駅前広場整備事業、⑤醍醐駅前再開発

**その他にも..**

京都高速道路建設費負担665億円と債権放棄113億円/地下鉄東西線の建設費は2450億円から4515億円に倍増

# 1 北陸新幹線延伸

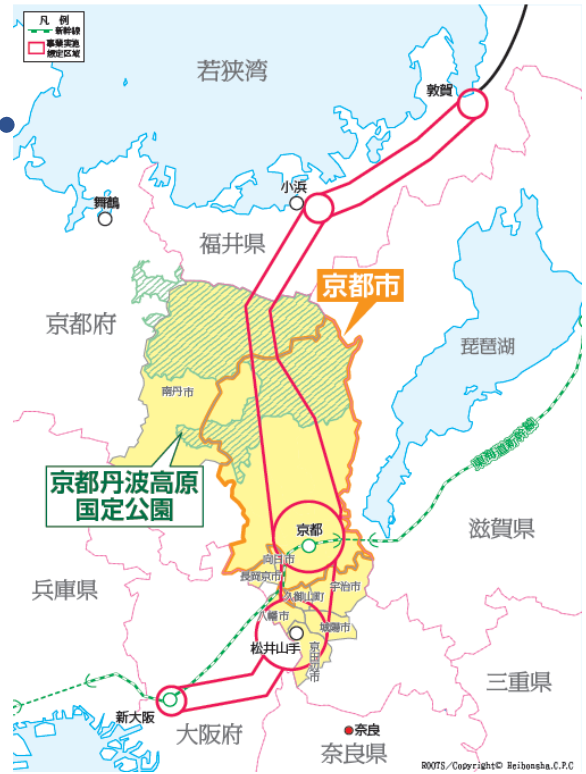
あくまで推進・・・

自民・公明プロジェクトチームは2023年に着工めざしている。

●北陸新幹線延伸に関しましては・・・国土軸形成に寄与する国家プロジェクトに対して法の趣旨に則って協力することは自治体としての責務であると認識している。

●行財政改革計画との関係におきましては・・・北陸新幹線についても対応図っていくべきものと認識している。

巨額の費用負担を強いる『北陸新幹線京都延伸計画への不同意』の決議を市会に求める請願審査市当局答弁(7月19日 総務消防委員会)

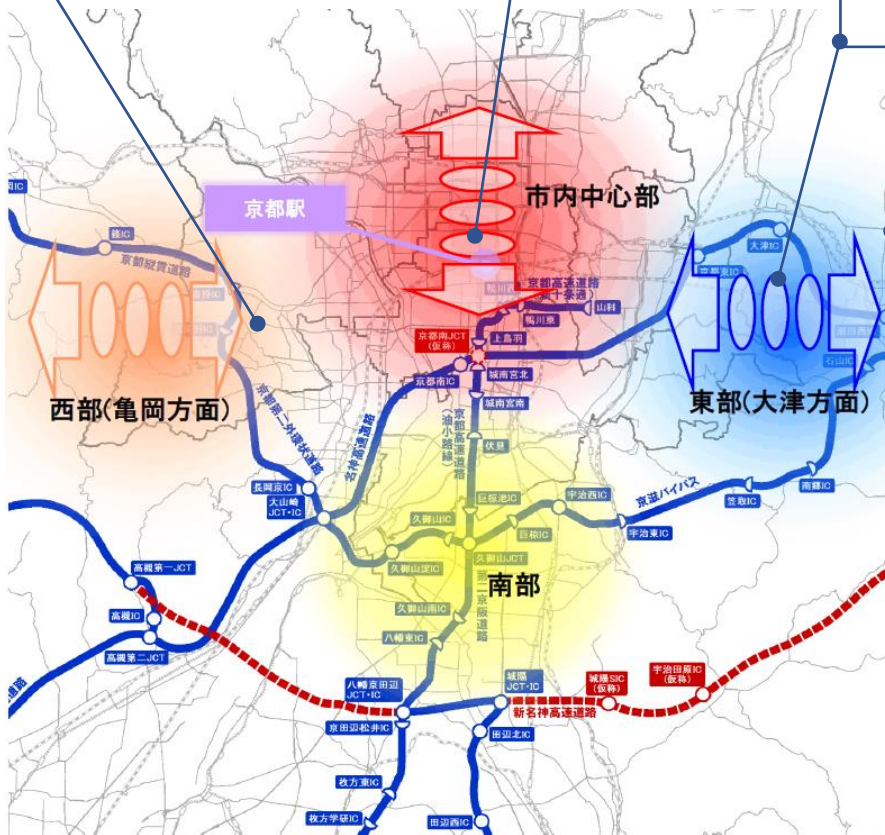


# 4 9号線バイパス

# 2 堀川地下バイパス

# 3 1号線バイパス

# 5 環環状ネットワーク



住民・福祉サービス削減のための行財政改革計画ストップ！  
声をあげましょう

9月市会請願・陳情 切 9月28日17時